



No.536

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp
頒価 50円



1月常任理事会 (2019年1月17日)

国会請願まで3カ月 署名活動を飛躍させよう！

通常国会が1月28日開会。安倍首相は、施政方針演説で、大問題になっている毎月勤労統計調査の不正・偽装問題は「お詫び」と「検証」で片付けて、改憲について「憲法審査会の場において、議論が深められることを期待」と執念を燃やしています。統一地方選挙と連続する参院選挙は暴走する安倍政権をやめさせる絶好のチャンスです。市民と野党の共同の前進に力を尽くそうではありませんか。

2万人の同盟建設をめざす「創立50周年記念・同盟運動躍進年間」は、みなさんのご奮闘で、自主目標を8県が達成し、1月1日現勢は、史上初の1万6362人に到達しました。新しい支部が11都府県で17支部つくられました。これらの教訓を学んで（詳細は、2ページ以降）、第39回全国大会（6月4く5日）めざして、すべての道府県が自主目標達成に挑戦しようではありませんか。

国会請願は、5月15日を予定しています。昨年の紹介議員は衆・参両院合わせて113議員です（前年プラス6議員、初めが34議員）。地元の国会議員事務所を訪問して、紹介議員要請をつよめましょう。統一地方選挙に積極的にとりくみ、全都道府県・支部が自主目標を達成しましょう。

主な記事

- 1月中央常任理事会開く……………2
- 私も一言／富田憲二（彫刻家・日本美術会代表）……………3
- 顕彰碑／東京・古川苞……………5
- 抵抗の群像／自由法曹団埼玉支部初代支部長 為成養之助……………6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳……………7

「躍進年間」の取り組みの前進を確信に、第39回大会、国会 請願へさらなる前進を 中央常任理事会



治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟の中央

常任理事会が1月17日、東京都内の全労連会館で開かれました。増本一彦中央本部会長のあいさつと、

田中幹夫事務局長の報告と提案、榎本よう子事務局次長の財政報告を受けて24人が発言。第39回全国大会の成功めざし、統一地方選・参院選勝利の闘いと結んで、2万人会員拡大、国会請願署名活動の

飛躍的前進を勝ち取ることを意思統一しました。

増本会長は、昨年の「創立50周年記念・同盟運動躍進年間」に全力投球したみなさんのご奮闘に、心からの感謝を表明。つぎのよう

にあいさつしました。

「躍進年間」の成果は、つぎの飛躍と発展の強固な土台になりました。「躍進年間」の目的は、全国2万人の同盟、全国各地に支部

の組織、国会請願の要求実現でした。これは今後も全力を傾けて追及しなければならぬ課題です。今年、5月国会請願要請行動、6月に全国大会、統一地方選と参院選があり、衆参同時選の可能性も指摘されています。消費増税中止、憲法改悪・

「戦争をする国づくり」阻止、辺野古新基地建設反対、原発ノーの闘いなどの大衆闘争もあります。それだけに、情勢に打ち勝つ同盟の「自力」をつける努力をしなければなりません。

4月の統一地方選と7月の参院選を「同盟要求実現選挙」と位置づけ、地方議会の請願・陳情と国会請願の紹介議員と賛同議員を増やすために奮闘することです。

地方政治の場での「自民党を中心とする『オール与党』対共産党プラス民主的無党派層・市民派」の「ねじれ現象」を克服するため

に、「治安維持法犠牲者に対する謝罪と賠償を実現する」人道的な

見地から賛否を問うことで「オール与党化」の分断をはかることが必要です。

沖縄県民による「辺野古新基地建設の賛否を問う」沖縄県民投票の闘いの勝利のために、全国の支援を提案します。

田中幹夫事務局長は、第38回全国大会で

課せられた諸課題を達成し、4ヶ月余に迫った大会を成功させることだと報告しました。

「躍進年間」では45都道府県で2432人を拡大し、1月1日現在、前大会比1028人増の1万6362人に到達しました。

千葉、青森、岩手、岡山、兵庫、静岡、埼玉、熊本の8県が自主目標を達成。16県が最高時突破しました。

教訓は①拡大の自主目標、期限を明確にする②幹部が支部に入っ



田中幹夫事務局長は、第38回全国大会で

課せられた諸課題を達成し、4ヶ月余に迫った大会を成功させることだと報告しました。

「躍進年間」では45都道府県で2432人を拡大し、1月1日現在、前大会比1028人増の1万6362人に到達しました。

千葉、青森、岩手、岡山、兵庫、静岡、埼玉、熊本の8県が自主目標を達成。16県が最高時突破しました。

教訓は①拡大の自主目標、期限を明確にする②幹部が支部に入っ

て先頭に立つ③対象者を決め、いつだれがどこで訴えるかを決める

(3ページにつづく)



韓国の独立運動「三・一運動」からこの3月1日で百年にあたります。この運動は、日本帝国主义の「韓国併合」強行による植民地支配に反対し、独立の回復を求める民族あげての闘いで、当時1千7百万人だった朝鮮で2百万人が決起しました▼この平和的な運動に対し、日本国家は容赦ない弾圧を加え、7千5百万人が殺害され、負傷者は1万7百万人、逮捕者は4万7千人に及びました▼昨年「韓国平和連帯の旅」での人々と交流で痛感したことは、韓国の人々が「三・一運動」などの歴史の真実と真剣に向き合い、過去から学び民族の自由と平和のために闘う姿でした▼昨年、米朝・南北両首脳会談によって築かれた平和へのプロセスを本格的に進め、北東アジアに真の平和と友好を築くためには、日本が過去の歴史に誠実な態度をとることは不可欠です。日韓両国民が「共に歴史を学ぶ」上で、歴史認識を問い続けて闘っている「同盟運動」の果たす役割がますます重要になっています。(池)

(2ページからつづく)

④ニュースを発行し経験・教訓を普及⑤支部をどこに、いつまでに、誰に依拠して作るかを定める。拡大の方程式は「種まく人びと」上映会と入会の訴えです。

上は19道府県49人。顕彰は、5月末までに延長して大会で表彰します。

現在6万1145筆で昨年対比プラス448筆です。

支部は大会後、11道府県で17支部を結成。地方議会での意見書採扱はこの間3市町で合計407議

きかけが重要です。

地方議会選挙、参議院選は、新しい仲間との出会いの場で署名集

会員拡大顕彰が力になり、5人以上は29道府県130人、10人以

国会請願は5月15日を予定して

しい仲間との出会いの場で署名集

秘も一言

2017年7月、日本美術界は「共謀罪」法強行に対し、抗議の声明を発表しました。「秘密保護法」「安保関連法」「戦争法」に続く「共謀罪」法は私たちの思想、良心の自由を侵す危険な

問など凄まじい抑圧がおこなわれました。当時の特高警察による勝手な解釈によつて、初めは社会主義者を狙った弾圧は、拡大され、シュールレアリストや自由主義的な美術家のすべてに拡がっていったのです。

昨年12月、日本美術会は、「憲法+21世紀の美術運動」多彩で自由な美の創造へ

中身であり、平成の「治安維持法」と言っても過言ではありません。

憲法+21世紀の美術運動 || 多彩で自由な美の創造へ

富田憲二 内でシンポジウム



戦前、国の方針、政策に批判的な美術作品は容赦なく展覧会場から撤去あるいは没収され、美術家の逮捕、拷

を開催しました。特徴的だったのが現在各美術館で起っている「表現の自由」への権力の介入の問題でした。人権の侵害が日常的に拡大しつつある危機に私たちは警鐘を発信し続けなければなりません。

(彫刻家・日本美術会代表)

め、会員拡大の絶好のチャンス。広く呼びかけましょう。

参院選では、32の1人区で統一候補を早く決め、同盟県本部も支援体制をとって勝利を勝ち取るこ

「種まく人びと」、『抵抗の群像』第3集、50周年・年表。パンフの3つを普及するために県本部が計画を立てる、『治安維持法と現代』の3000部固定読者をめざ

第39回全国大会は6月4日、5日に行い、議案は、4月11日の常任理事会で決定します。

常任理事会では、「辺野古新基地」を問う県民投票に勝利しようの「特別決議」を採択しました。

治安維持法検挙者||米軍返還資料DVD 1枚



300円
ご希望の方は中央本部へ申し込みください。

常任理事会の発言から

(敬称略)

署名の遅れを二気呵成に

千葉県、中村日出丸

千葉県同盟では、激動の今を同盟がいかに闘わなければならないかを議論。そして一つ一つの活動を緊張感を持って前進させていくなかで、同盟全体の意思統一を進めて行きたい。県同盟を400人

にすることができたが、さらに春には新たに2つ支部ができる予定。これに元気をもらい、また情勢の

激動についての議論も進めて行きたい。署名は現在2000筆だが国会請願行動までに二気呵成に進めたい。そのため県同盟400人の力をどのように、作り上げてい

くかが同盟県本部の大きな仕事となっている。

大会目指し新目標の達成を

岡山県 福井正樹

300人の同盟を達成し、新たな目標350とし、現在322人。一昨年、月間を設定して74人

大したが、岡山支部がその内64人と全県的な動きでなかった。同盟員を増やし同盟運動の継承者になつ

てもらったため12月に犠牲者遺族20人を集め集会を開催。今年も新同盟員の歓迎会に合わせ多喜二の映画を上映。新しい会員が運動に参加し発言も多くこれからの活動に期待、役員にもなってもらいたい。

特別決議(要旨)

沖縄県民に連帯し「辺野古新基地」問う県民投票に勝利しよう

2月24日に行われる辺野古新基地建設を問う県民投票は絶対に成功させなくてはなりません。県民投票は、地方自治体や国の政治に直接住民、国民の意思を反映させる直接民主主義の運動です。新基地建設は「日米同盟」維持・強化のためであり、新基地建設によって犠牲と負担をこうむるのは沖縄県民であり、沖縄県民の意思を直接問うのは当然のことです。私たちが新基地建設を自らの問題としてとらえ、国策に真正面から抗する沖縄の県民投票を成功させるために、連帯して全力を挙げてともに闘うものです。

このためにも同盟活動の手引きの発行に期待している。

署名活動では、民主団体の役員

目標を国会請願までに達成

北海道、宮田汎

1300人同盟という道本部目標に、同盟員55人が279人拡大したが、退会等が93人あったので

実際には186人増。この間、原動力となったのは、北見支部と苦小牧支部で、両支部が競って拡大を進めたことが大きな牽引力となった。北見支部は月毎と年内の目標をきちんとやり切った。催しを行い熱いうちに拡大をする。支部20周年を記念して多喜二の映画を上映し90人を集め10数人が入会。苦小牧支部は、幹部が徹底的に議論し、幹部が複数で出向き拡大を進め大きな成果をあげた。小樽支部では多喜二の故郷で同盟がこんな

に届け40人も増やした。また、札幌支部には全道から札幌の知人に声掛けを行っている。北海道1300人の同盟を国会請願までに達成したい。

顕彰制度を力に目標を達成

熊本県 小田 憲郎

長年の目標だった150人を超え167人にする事ができた。増やすキツカケの一つが、5人10人の拡大者の顕彰制度。県本部で顕彰に呼応する人を増やすことになり、これに添えて、一月余りで

14人増やす人、事務局長の奥さんが6人、私も10人と大会比でプラス62人、現在は65人と目標を達成。だが、拡大は理事会や支部で議論したうえで組織的な活動でなかった。このことを後向きに捉えるのではなくわずか3カ月で達成させたのだから拡大の可能性、条件はまだ充分にあるということだ。

また、事あるごとに同盟の旗を掲げて、国賠同盟の存在と同盟が何をやっているかを宣伝。

今年の県同盟創立40周年までに200人の同盟にしたい。

状態が良いのかと目標を超えて53人になった。さらに釧路支部長は、「あなたが同盟員でないことを寂しく思う」などと手紙を130人

顕彰碑

探訪

「古川苞ここに眠る」 碑除幕

東京葛飾区

青春を社会変革にささげ、29歳で死没した古川苞^{おほ}。昨年12月15日の命日に、その不屈のたたかいを顕彰した碑が東京・葛飾区高砂の理昌院・古川家墓所に同盟葛飾支部らの手で建立された。銘板には「古川苞ここに眠る」と略歴があざやかに刻まれている。

古川は1906年、小樽市生まれ。旧制山形高校から東大文学部に入学。「東大新人会」や本所柳島セツルメント活動、労農党江東支部書記として活躍。28年の3・15事件、ついで29年の4・16事件でも検挙され、さらには34年、共



産党東京市委員長として活動中に検挙され、拷問と思想転向の強要にも屈しなかった。共産党の「赤旗」183号(34年12月4日付)は、「同志古川の即時釈放と救援闘争を巻き起こせ!」と題する記事を掲載し、古川の重態を知らせた。瀕死の状態でも豊多摩刑務所から仮釈放された古川は、自宅の書見台で『資本論』を学習するなど再起を期したが、35年12月15日、家族に見守られて29歳の生涯を閉じた。

銘板設置記念出版の『古川苞―その不屈の生涯』増補新版(藤田廣登著)には、古川家の居室の位置、旧山形高校の成績表のこと、無産者医療運動の先駆、たった青砥・亀有無産者診療所が、古川の父・松柏さんの抛出によることも明らかにされている。

〈交通〉東京・京成高砂駅下車、徒歩10分。高砂7丁目、理昌院

(編集部 澤田勝雄)

常任理事会での発言

発言は、冒頭に、「50周年躍進年間」で自主目標達成8県から発言しました。

達成県の共通したとりくみは、達成で終わるのでなく、さらに新しい目標を持つてとりくんでいる。千葉では、300人を達成、さらに400人をたて達成しています。兵庫では、1000人を見据えて挑戦。熊本では、役員が、拡大顕彰活動に挑戦、目標を達成。40周年に新しい目標を立てとりくまれている。各県とも共通しています。また、学習を重視。支部建設・顕彰活動をつうじて成果をあげています。

達成県、◎中村日出丸(千葉)

◎鎌田哲成(青森) 会員430人 達成。三八支部建設がポイント。

◎牛山靖夫(岩手) 会員318人 達成。目標達成の積み重ね。学習・遺族を会員に。◎福井正樹(岡山)

◎岡正信(兵庫) 会員860人 達成。会員拡大部隊結成。戦前の闘いに誇りをもって。◎若山晴史

(静岡の代理報告) 会員261人 達成。県本部の新体制。2つの新支部。歴史から学ぶ、人間から学

ぶ。活動が喜び。◎小田憲郎(熊本) ◎遠山茂治(長野) 会員49人 達成。広域支部、空白の克服 ◎岩田治樹(埼玉) 会員310人 達成。目標を持つ。顕彰活動。支部結成。

◎菅野亨一(中央) 国際連帯の旅。国際人権理事会ほか。◎小室

仁弥(埼玉) 安倍政治と正面対決。困難県への援助。◎眞殿天童(大

阪) 犠牲者掘り起し。遺族は宝の山。◎中嶋育雄(東京) 会員11

07人 到達。遺族中心の40周年集会。◎大石喜美恵(中央・女性部

長) 19年全国女性交流集会、11月開催。18年報告集発行。◎田辺実

(奈良) 海外の犠牲者の把握。韓国全羅南道の場合。◎岩下美佐子

(大阪) 「日本会議」と四つに取り組む。司法、教育、マスコミを

変える。同盟の役割◎藤田廣登(中央) 毎月一人会員拡大を目標

に取り組む。治安維持法研究者に

入会、特技を生かした活動にどう

取り組むか。◎宗形孝至(神奈川)

県本部活動の総括。◎交告ちづ

(岐阜) 支部の会員拡大。支部の

女性部活動。◎瀬野幸男(山形)

冊子『古川苞』の普及。支部再

建に努力。◎宮田汎(北海道)。

抵抗の群像

自由法曹団
埼玉支部初代支部長
為成養之助

ためなりようのすけ
為成養之助

為成養之助さんは、1904
(明治37)年4月16日、大分県下
毛郡中津町(現中津市)で父向野
勘三、母エンの6人兄弟の4男で
末っ子として誕生した。生家は質
屋兼小地主で家作も持っていた。
15年(大正4)、伯父為成時太・
スヨの養子となった。

地元の大分県立中津中学に入学。
おとなしくて勉強家の為成は、好
奇心旺盛で、珍しい英語が好きで、
よく勉強した。中学4年で鹿児島
の第七高等学校に進学すると大正
デモクラシーの風潮の中、政治・
労働の運動の高まりで学生の運動
も活発になっていて、演説会など
にはよく聴きに行っていた。
東大でマルクス主義思想に共鳴
24年、東大法学部に入学するた
め上京した。東大には、すでに社
会科学研究会が組織されていて、
関心が高まり、セツルメント紹介

の演説を聞き、自分も人の役に立
つような仕事をやりたいと、運動
に参加、法律相談部の活動を始め
た。この活動の中で、マルクス主
義思想に共鳴していった。
28年、司法官試験となり、東京
で3年間の後、長崎地裁の判事と
して勤務した。

この間も、社会科学研究を続け、
長崎裁判所でも同じく研究会を行っ
ていた。これらの活動で33年に治
安維持法違反として検挙され、
「赤化判事事件」として支配階級
を震撼させた。長崎の浦上刑務所
から東京豊多摩刑務所、小菅刑務
所を経て36年に仮出所した。
出所後は、岩波書店のアルバイ
トや雑誌社の翻訳などと親戚の仕
送りなどで生活、この間に東大セ
ツルメントの知り合いで、29年の
四・一六事件で逮捕された安藤敏
夫の妹と結婚した。

39年、姉が関わる会社の役員を
務めるため、朝鮮の京城に一家で
移り住んだ。朝鮮での6年間に3
回の軍隊召集の中で敗戦をむかえ
た。

朝鮮から埼玉へ引き揚げる
終戦の年の11月に引き揚げ、住
むところを探しながら埼玉県与野
町(現さいたま市中央区)に住ん
だ。さっそく与野町引き揚げ者厚
生会で活動を始めた。

当時引揚者は衣食住に困窮して
いたため、食料から生活物資の調
達・配給の仕事に連絡や運搬手段
の不便ななか悪戦苦闘する日々で
あった。

やがて、法曹資格を回復して弁
護士登録し、当時、埼玉県唯一の
自由法曹団員として活動を開始し
た。

しかし、当時の裁判は軍事裁判
で講和条約発効の前までは刑事事
件でも米軍が傍聴に来て牽制して
いた状況だった。

終戦直後、最大の争議、東洋時
計事件には第一組合と第二組合同
の説得工作のデモに米軍がジープ
で乗りつけて分断する状況もあっ

た。

51年から52年にかけては占領軍
政策違反三三五号で、前年発行禁
止になった「赤旗」の後継紙問題
で労働組合や民主団体の機関紙な
どが挙げられ、埼玉でも次々と起
訴され、被告は40人くらいに達し
たという。

「兵服姿の貧乏弁護士」

だが埼玉では、まだ日本国民救
援会の活動が十分でなかったため、
弁護人兼救援活動者として、面会
や差し入れにと日夜奔走した。

しかし、釈放されても誰も弁護
士料を支払うことができなかった。
「小屋同然の事務所」「兵服姿の
貧乏弁護士」との後日談にある。

松川事件では、弁護人に参加し
ながら埼玉の弁護士会に働きかけ
て次つぎに承諾を取り、後に自民
党県連副会長、また後日文部大臣
になった人も名を連ねて松川事件
を大いに励ました。

76年に、自由法曹団埼玉支部が
結成され、支部長に就任した。

1995年9月2日、92歳で生
涯を閉じた。

(埼玉県本部常任理事・加納幸子)

短歌

碓田のぼる選

幼な児も「原発イヤ！」のプラカード背に負いて行く母と手つなぎ
岐阜県 和田 昌三
美ら海の哭声確かに聞えたり土砂投入のその日そのとき
埼玉県 白川 洋子
悪法の一挙強行に紙議員漁民の怒りを涙で訴う

島根県 小玉 信恵
政権が私の憲法に襲いかかる座して老いれば骨砕か
るる
岐阜県 田中 良
書齋より「メシ未だか」と促す夫の今日三回忌ひとり食む飯
大阪府 丸尾幸登代

枯れたよな枝に点々と紫陽花の芽吹きのおーラに奮起の八十路
鳥取県 大久保禮吉
旗祭り十年ぶりに会う同志真の健康喜び分かつ

岡山県 中山 芳樹
わが父の命日墓所で手を合わす「南無平和観音」の札授受をして
岩手県 小杉 正夫

ベトナムで東アジアの平和説く志位氏講演光ほのぼの
福井県 元山章一郎
駅前の酒場はいつも賑やかにサラリーマンは本当の顔に
埼玉県 福家 駿吉

〈選のあとに〉短歌作品には、作者の顔が見えるように歌うことが大事です。短歌のリズムになつていれば、いいというものではありません。作者の顔とは、人間としての感情表現のことです。ピカソは人間は感動の器だと云いましたが、その器から溢れるものです。

俳句

望月たけし選

天地も海も耐える沖繩春を待つ
岩手県 島山 文裕
眼裏に遺体は消えず多喜二の忌
神奈川県 天野三葉子

締めぬ節目のひとつ多喜二の忌
埼玉県 小池 荘八
「山宣」に闘い誓ふ冬の墓
兵庫県 岸本 守

高く飛べ「非核」「平和」の連風よ
三重県 橋本しげる
〈評〉二句目、三句目の多喜二の忌は、新たに金子兜太忌ともなりました。この日は、一八一八年、岩手県の日戸で石川啄木が生まれた日ですから日本文学にとって記念すべき日であります。先達の志に応え奮闘しましょう。

川柳

鈴木いさお選

新年に思う戦のない国に

埼玉県 福家 駿吉
〈評〉地球上のあちこちで今尚争いが絶えません。せてわが国だけはと思うのですが、キナ臭い動きが政権に見え隠れ。
農業に続き漁業も明け渡す

年号がなくても過ぎて行く時間
大阪府 大和 峯二

豊洲ブランド欠陥だらけ屋根もない
大阪府 佐々木雅博

安倍寺のモラルハザードゴーンと鳴り
大阪府 堺谷九条男

鳥取県 大久保禮吉

創立50周年記念会員拡大5人以上の顕彰者

5人以上の顕彰者(1月16日現在)
第15次発表・2名(累計130名)

【静岡】 1名(累計7名) 高田 馨

【岐阜】 1名 和田昌三

なお、10名以上の拡大者は現在49名です。
引き続き5名拡大と合わせ「顕彰制度」を6月の全国大会まで継続しますので挑戦しましょう。

年度末にむけ会費100%を

昨年11月の三役会議の訴えにこたえ、年末ぎりぎりまでの奮闘で、会費・募金などで中央への納入ありがとうございます。

3月年度末にむけ、会費の100%納入、募金目標の達成、広告代金、書籍やDVD代金の納入をお願いします。

各県本部には、各種代金の入金状況の明細を送りました。

2月・3月の全国の顕彰活動

◇第40回大館市小林多喜二記念の集い

日時：2019年2月17日(日)

14:00～16:00

会場：大館市中央公民館

講演：「多喜二上京す」―亀戸

事件と多喜二

講師：藤田廣登氏

◇第54回秋田県多喜二祭

日時：19年2月16日(土)

13:00～

会場：秋田県生涯学習センター

講演：「多喜二上京す」―亀戸

事件と多喜二

講師：藤田廣登氏

第29回全国女性交流集会報告集2月中旬発行

昨年11月11、12日、静岡県熱海市内で、全国から96名が参加。初参加者が34名、集会での入会者3名という画期的な集会となりました。

報告集には、増本会長あいさつ、田中事務局長報告をはじめ、岩下美佐子さんの記念講演「治安維持法犠牲者から受け継ぐ 私たちの『#Me

小松益喜・とき夫妻の足跡

次男・伸哉さんが語る

3月5日(火)午後2時

葛飾区亀有・長永寺

参加費1000円

〒090-3478・9024

(野島さんまで)

◇杉並・中野・渋谷第31回多喜二祭

日時：19年3月3日(日)

13:30

会場：座・高円寺2

講演：小林多喜二と共闘の時代

―トランプ現象を乗り越えて

講師：尾西康充三重大学教授

「戦争の時代を生きて」第三集より

(富古・下閉伊地域の戦争を記録する会編)

短歌「兵たりし兄」金沢邦臣

(岩手・宮古市)

先生の勧めに心躍らせて

兄海軍に志願する

志願などせずとも「徴兵」くるべしと

兄の背を撃ちて母は泣けり

殴打・怒声うけるもこらえ励む兄

体は耐えず肺病となる

訂正

・「不屈」1月号5ページ3段目、

後ろから4行目、「渡辺正之助」

を「政之輔」に訂正します。

事務局日誌

1月6～7日 「不屈」拡大編集

会議

1月10日 全労連会館新春昼食懇

親会

1月11日 全労連、国民春闘共闘

会議新春旗開き

1月16日 三役会議、国際部会

1月17日 常任理事会

1月24日 日本母親大会実行委員

会

同日 国際人権活動日本委員

会代表者会議

2018年秋季号

『治安維持法と現代』

好評発売中



【主な内容】同盟50周年記念号 安倍異常政権の深層を衝く―3選されても嵐の中の船出となった安倍首相=五十嵐仁、翁長知事の遺志は県民と玉城デニー新知事に受け継がれた=宮城達、今日における請願権の意義=小沢隆一、小樽商大・小樽における浜林正夫伝説=荻野富士夫、「日本資本主義発達講座」における野呂と山田の協働のひとコマ=宮川彰、〈実証・治維法弾圧〉新資料が語る父・菊池国作の奇跡(平山知子)、治維法に抗って―父・溝川良治の足跡、不屈・誠実、風説をめめて辞世、尹東柱・治維法の犠牲者(池田功)ほか。 A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

発行 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟